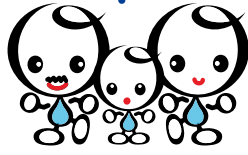


TAKE FREE

ご自由にお持ち下さい。

笑顔あふれる
元気なまち！



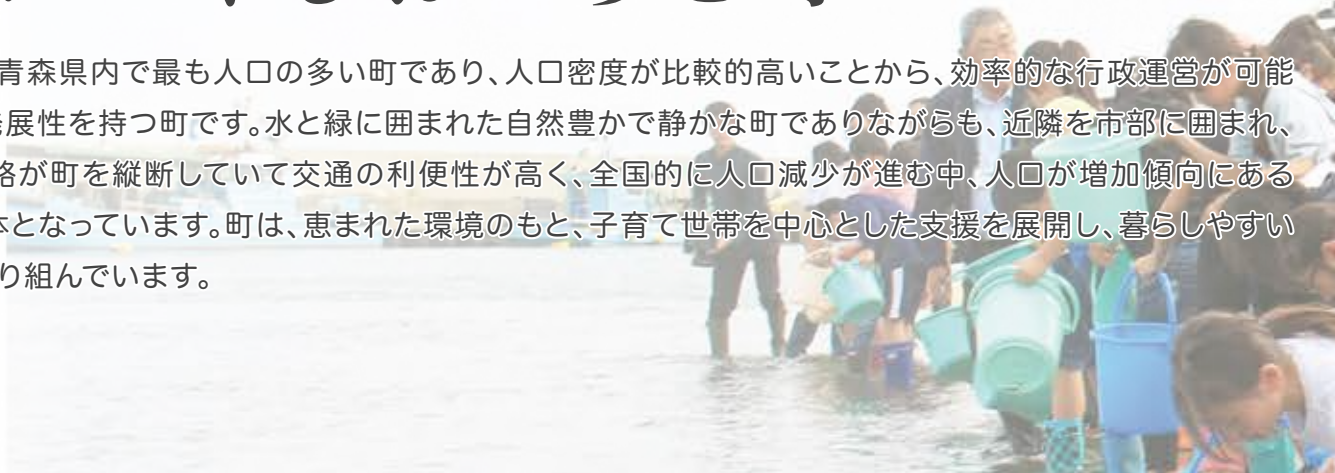
おいらせ町 移住・定住 ガイドブック

Let's live in Oirase-Town



子どものびのび大人いきいき ともにつくるおいらせ町

おいらせ町は、青森県内で最も人口の多い町であり、人口密度が比較的高いことから、効率的な行政運営が可能であり大きな発展性を持つ町です。水と緑に囲まれた自然豊かで静かな町でありながらも、近隣を市部に囲まれ、鉄道や有料道路が町を縦断していて交通の利便性が高く、全国的に人口減少が進む中、人口が増加傾向にある数少ない自治体となっています。町は、恵まれた環境のもと、子育て世帯を中心とした支援を展開し、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいます。



おいらせ町の地勢

青森県の東南部に位置し、広大な台地と平野からなる人口2万5千人程の町です。町の南部を十和田湖を源流とする奥入瀬川が流れ太平洋に注いでいます。1年の平均気温は10.9℃程であり、夏は過ごしやすい冷涼な気候です。冬は、気温こそ低いものの青森県内で最も雪が少ない地域です。



家庭にやさしい、 充実した子育て支援

生後4か月までの子どもがいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や助言を行います。子どもの医療費無料、保育所の待機児童ゼロの実現、延長保育や児童館・放課後児童クラブ利用料無料など、子育て家庭が安心して働くことができる環境が整っています。

交通の利便を活かした、 住みやすいまち

青い森鉄道の駅が2駅あり、通勤や通学に便利です。車の利用で三沢空港、JR八戸駅(新幹線)、八戸港フェリーターミナルまで全て30分以内にアクセスすることができ、陸、海、空全ての交通網に隙がありません。





自然と調和した生活空間

おいらせ町は、自然、農地、商業地、工業地、住宅地がバランス良く配置されていて、居住地域と自然の距離が近いので、気軽に自然と触れ合うことができます。水資源が豊富で河川や海があるため、農業や漁業が盛んです。

日本一の 自由の女神像と鮭まつり

ニューヨーク市と同緯度(北緯40°40′)で結ばれていることから建てられた、いちよう公園にある高さ日本一(20.8m)の「自由の女神像」、ギネスブックの参考記録にも認定されたことのあるサケのつかみ捕り日本一の「おいらせ鮭まつり」など、日本一がたくさんあります。



大型ショッピングモールと 歴史・伝統文化遺産

昔ながらの商店街のほかに、大型ショッピングモール「イオンモール下田」が立地しています。また、国史跡・阿光坊古墳群、長寿日本一といわれている根岸の大いちようや大山将棋記念館など歴史や伝統文化により観光や教育を盛り立てています。



子育て支援

「子育てしやすい町」青森県No.1を目指して
～子育ての不安を笑顔に変える家庭にやさしい支援～

妊娠～子育て時期

保健師や栄養士による個別相談や
訪問で心配事に応じています。

- 乳児健康相談
2～3か月児(ベビーピクス)5～6か月児、
9～10か月児(歯科医師診察)
- このほか、各種相談を行っています。



特定不妊治療費助成事業

条件を満たす方に対し、特定不妊治療(体外受精&顕微授精)費の
一部を1回あたり10万円助成します。

妊娠時期

パパママ歯周病検診の無料受診票交付

早産等のリスクを高める歯周病を早期発見するため、パパママに対
し交付しています。

多胎児妊婦健診の充実

妊婦健診14回分(通常)の無料受診票に加え、多胎児の場合は追加
で7回分を交付しています。(双子の集い開催)

ハイリスク妊産婦アクセス支援事業

特定妊産婦の通院入院等に必要な交通費・宿泊費の一部を助成します。

出産時期

多子出産祝金支給事業

第2子、第3子以降が生まれた世帯に祝い金を支給します。
※おいらせ町に1年以上住所がある方が対象です。自己所有住宅に
居住の場合は、期間を満たさなくても対象となります。
金額(第2子5万円、第3子以降10万円)



出産～子育て時期

中学生以下の医療費が無料

中学生以下の子どもの医療費(保険適用分)は原則無料となります。

ひとり親家庭等医療費給付事業

ひとり親家庭等の父母、その児童の保険適用分の医療費の一部を助
成します(所得制限あり)。

子育て時期(幼・保育園)

第3子以降の保育料無料化(保育料軽減事業)

18歳未満の児童が3人以上いる場合で、3人目以降の子どもが新
制度に移行する認定こども園等を利用した場合に保育料が無料とな
ります。

すくすく子育て支援事業

第3子以降の子どもの幼稚園保育料の一部を補助します。所得状況
に応じて、幼稚園保育料から幼稚園就園奨励費を差引いた額を全部
を補助します。

幼稚園就園奨励費事業

幼稚園に就園する園児の保護者に対し、所得状況に応じて奨励費を
補助します。

特別保育事業

延長保育、一時預かり、地域子育て支援センター、病後児保育を町委
託事業で実施しています。



子育て時期(0歳から未就学まで)

無料受診票を交付

- 乳児健診
1歳のお誕生日前日まで、県内の医療機関で受診できる受診票を
3枚交付しています。
- 先天性股関節脱臼検診
生後90日～120日までの子どもに対し交付しています。
- フッ素塗布
1歳6か月児、2歳6か月児、3歳児健診受診対象者のうち希望者に
交付しています。

幼児健診の拡充

法定健診(1歳6か月児健診・3歳児健診)に加え2歳6か月児に対し
健診を行っています。

発達健診・言語発達相談

子どもの言葉や心身の発達が気になる方に対し、臨床心理士や言語
発達相談員等による検査・相談を行っています。

子育て時期(小・中学校)

学校給食費が無料!!

町内に住所を有する保護者を対象に学校給食費の無料化事業を
行っています。

放課後児童クラブの利用料が無料!!

町内にある4つの放課後児童クラブ(町直営2か所、民間委託2か所)
を原則無料で利用できます。
また、町内2つの放課後子ども教室も無料で利用できます。

就学援助事業

お子さんを小・中学校へ通学させるのに、経済的な理由でお困りの方
に対し学用品費の一部を援助しています。



子育て時期(高校・大学等)

奨学金制度

経済的な理由により就学が困難な方に無利子で貸与します。
月額は、大学・大学院4万円、短期大学・高等専門学校・専門学校3万
円、高等学校1万円です。償還期間は、最長貸与期間の2倍の期間。



その他、子育て支援についてはおいらせ町移住ポータルサイトをご覧ください。

INTERVIEW

北海道 ▶ おいらせ町
(移住歴7年)

外井 亜希さん
NPOおいらせ自然楽校
理事長

移住した方の声



住宅街から身近にある「どっぴりな自然」

～自然との触れ合いで子どもの成長を育む～

平成24年に夫の転勤で北海道からおいらせ町に転入した外井亜希さん。

NPOおいらせ自然楽校の理事長として、身近な里山で子どもの生きる力を育てる活動をしています。



おいらせ町で暮らした第一印象

引っ越ししてきた当時、お米を買って食べたらとても美味しかった印象があります。普通の安いお米ですよ。

あと、北海道では野菜カプエなどに売っているような、ロマネスコやスイスチャードが身近に普通に売っていることに驚きました。

ゴボウやんにくが瑞々しくて、北海道に居た時は、ゴボウは中に芯があって茶色いイメージだったのですが、こちらのゴボウは、中まで真っ白でとても美味しいことがわかりました。

気候について

北海道と比べてしまいますが、おいらせ町は雪が少なくていいです。しかし、山には雪が積もりスキーなど楽しめるんですよ。北海道に住んでいた時、「街には雪が降らず山にだけ雪が積もれば幸せだな」と、思っていたら、その理想が、この町にありました。

おいらせ町の自然はどういう印象ですか？

丁度いい。おいらせ町の自然は、深い森に入ったような雰囲気があるんですが、整備された場所からすぐ側なので、子連れでも、何かトラブルがあってもすぐ人を呼べる身近さが魅力です。あと、里山の中に食べることが出来る植物が多いです。特に木苺が多くて子どもと食べ歩きながら自然を満喫しています。

活動のきっかけ

私は自然が大好きで、カヤックや滝のぼりなど、北海道ではディープに遊んでいました。子どもが生まれ、おいらせ町に引っ越しをしてからは、ディープな自然遊びに行けなくなったのですが、子育てで疲れた時に、身近にあった自然の中を歩いてみたら草木や花の豊富さに驚き、自宅から身近な里山で子育てしたいと思いました。

私の中で、北海道の自然は開発されているイメージがあって、私がかしなくても良いと思っていたのですが、おいらせ町は、まだまだ未開発な魅力が多いという印象を受けました。

この印象が切っ掛けで、この町を活かしたいという気持ちが強くなり、町を楽しむ「OVERASSE」という、まちづくり団体を友達と立ち上げイベントを開催してきました。私は、まちづくりは、人づくりだと思っています。子どもには、心の豊かさを知ることや、幸せに向かって自らを選択していきける生きる力を培って

今後やってみたいこと

森に来ることが素晴らしいことではないし、人によっては、虫が嫌いで森に行けないという人も居ます。それはそれで良いことだと思えます。もしかしたら、親は森に行けないけど、子どもには自然との触れ合いを大切にしてほしいと願う親もいるかもしれません。そんな子育てのための場所として、子どもを預けてもらえるような取り組みを行ってほしいと考えています。

最後に一言

首都圏や大きい街に住んでいる方がおいらせ町に来たときに、「今まで住んでいた街には、科学館や学習施設など多くの施設があったのに何も無い町だ。」と、感じる方がいると思いますが、おいらせ町には、生活の身近に素晴らしい自然があります。自宅から車で10分のところに、どっぴり浸かれる自然があり子連れでも安心して楽しめる場所があります。湧水がある秘境のような場所が、身近にある場所って外に無いんじゃないかな。





高校卒業と同時に上京、平成29年春にUターン実現

～首都圏とは違う暮らしや改めて知る魅力～

高校卒業後、就職のため埼玉へ移り住み9年間を過ごし、平成29年春においらせ町にUターンした坂本大貴さん。もともと「帰りたいなあ」と思う気持ちは持っていたものの、行動に移すきっかけとなったのは祖父の死でした。

帰りたいなあという思いを後押しした「祖父の死」

地元の下田まつりに参加するため、毎年きまって帰省していました。数年前に祖父が亡くなったときも、下田まつりに合わせて帰省する計画を組んでいて、祖父に1年ぶりに会う約束をしていました。結局、亡くなってから会うことになりました。おいらせ町へ帰郷するタイミングは何度も有ったのですが、引越しを考えると面倒な気持ちがありました。地元の下田まつりに参加するたび、知人達から「もう帰ってこいよ。」と、言われていたので、「帰りたいなあ」という気持ちはずっとありました。祖父の死をきっかけに、「いつそのこと戻ってこようかな」と考えるようになり行動しました。

移住への第一歩！移住相談窓口をフル活用

Uターンを真剣に考え始めたとき、有楽町のふるさと回帰支援センターにある「青森暮らしサポートセンター」に足を運び、就職の相談を始めました。相談員がハローワークの求人を見ながら一緒に調べてくれて、平成29年1月の終わりごろに、これまでの経験を活かせそうな求人があったので応募し、内定がもらえました。

平成29年春

おいらせ町の自宅から職場のある八戸市へ毎日通勤する生活が始まりました。

た。Uターンする前は残業が多く業務時間は長かったのですが、地元で暮らすようになってから、ほぼ定時で帰ることが出てきます。給料は以前と比べると若干下がりますが、生活する分には困らないです。通勤時間は、おいらせ町から八戸市まで余裕をみて車で30分ほどです。通勤も苦ではありません。

週末もアクティブに！これまでとは違う時間の過ごし方を満喫

関東にいた頃、青森関係のイベントに参加するようになり、そこで津軽の人と知り合ったことがきっかけで、津軽地域に遊びに行くようになりました。Uターンする半年ほど前に帰省した時は、先にUターンした人に会いに行きました。鶴の舞橋(鶴田町)や盛美園(平川市)など、先輩移住者から教えてもらい初めて観光に行きました。青森に住み続けている人からすると、「よくそんなに移動するね。」と、言われますが、埼玉県でも、車移動が主でしたし、都内に行くときも車で行っていたので、青森での移動距離や時間は気にならないです。最近よく行くのは南部町や三戸町でイベントの手伝いとかさせてもらっています。関わるようになってから、おもしろい町だなあと思うようになりました。

当たり前ではなかった。おいらせ町の「食の豊かさ」

ふつうに美味しいものが食べられる。親戚に農家や漁師がいるのという縁があるせい、青森に居た頃に当たり前

だと思って食べていた農海産物が、埼玉で暮らして「あれ、なんかちょっと違う。」って感じてました。都会には飽きた感があります。9年間暮らしたし、もういいかなって思います。Uターンしてから東京に3回行ったけど、仕事などで、たまに行ければいいと思っています。今はインターネットを通じて何でも買えるし、友人ともSNSでつながっているから、友人が何をしているのか把握できるし、交流で困ることはありません。

最後に一言

社会人になってUターンした今だからこそ出来ることを見つけ、マイペースに楽しんでいます。将来は、ゲストハウスをやってみたい。趣味の自転車を楽しみなから、同じ趣味を持つ人たちが集う場所を作りたい。

おいらせ町を拠点にするからこそ、近隣市町村で楽しいことがあると気軽に行くことができます。Uターンした今だから、今まで感じなかった面白さを実感し満喫できるし、近隣市町村にも関わるようになったことで友人の輪が広がっています。





お仕事 支援

おいらせ町だけで就業を
考えなくても良い

創業支援事業

創業を希望する方や創業して間もない方が、経営、財務、人材育成、販売の4つの知識を習得できる「特定創業支援」を国等の機関と連携して行っています。また、この「特定創業支援」を受けた事業者へ、町が証明書を発行することで、創業関連保証の特例拡大等の各種支援を受けることができます。

地域雇用創出推進事業

卒業後3年以内の既卒者と非自発的離職者の雇用確保に対応するため、これらの方を新たに常用労働者として雇用した町内事業所に対して、既卒者を雇用した場合には月額3万円を、非自発的離職者を雇用した場合には月額2万円の緊急雇用奨励金を交付します。

農業次世代人材投資事業

農業を始めてから経営が安定するまでの間、新規就農者(原則50歳未満)に対して国の資金(最大150万円/年、最長5年)を交付しています。

環境保全型農業直接支払事業

有機農法、低農薬栽培を推進し環境にやさしい農業を実施する農家等に対し、環境保全等のための取組に係る経費の一部を助成します。

近隣市も含めた就業で良好なアクセス環境

近隣市へ車で移動が便利のため、近隣市を含めた幅広い業種から就業を選択できます。また、町で創業する方への支援制度を準備しています。

野菜等産地力強化支援事業

野菜等産地の所得向上等を図るため、労働力不足に対応した省力機械及び設備導入や施設園芸の新規取組者に対するパイプハウス導入費の一部を補助します。

工場誘致奨励事業

町や県の誘致により工場を新設する場合、要件に該当する企業に対し次の奨励金を交付します。

●工場操業奨励金

固定資産税を納期限内に完納した場合、納付同額を交付します。(5カ年間)

●雇用促進奨励金

該当する町民を雇用する場合に人数に応じて奨励金を交付します。

(10人を超える1人につき20万円)

知的財産権対策支援事業

国内特許出願等を行う八戸圏域連携中枢都市圏(おいらせ町、八戸市等8市町村)の中小企業者に対して、知的財産権の保護と新製品や新商品の開発により、戦略的に知的財産を活用し、産業の活性化を図る目的で経費の一部を助成します。

ジョブカフェあomorい

「青森県若年者就職支援センター(ジョブカフェあomorい)」とは、若年者の能力向上をはじめ就職促進や職場定着等を目的に、各種イベント・セミナーや職場体験等、就職に関連したサービスを1ヵ所ですべて受けられるようにした就職支援のワンストップサービスセンターです。

<http://www.jobcafe-aomori.jp/>

ハローワーク三沢

地域の求人情報や雇用関係についてはハローワークをご利用ください。

電話番号:0176-53-4178

八戸圏域の求人・求職情報

八戸都市圏ジョブ市場

近隣市町村の仕事探しにピッタリ

八戸都市圏ジョブ市場

八戸圏域内の求人情報やビジネス

▼八戸広域エリアの求人情報検索が可能

▼求職者登録

▼ハローワークの求人以外も取り扱い

URL:<https://www.8nohe-job-ichiba.jp/>





住まい 支援

住宅費用の軽減による
移住しやすい支援



定住促進助成事業

おいらせ町内に新築や中古住宅を取得し転入した世帯に対し一定の条件を満たすことで助成金を交付します。

助成金額／基本助成(最大50万円)+地域加算(最大50万円)+子ども加算(10万円/人)

洋光台団地定住促進事業

快適な住環境を整備したおいらせパークタウン洋光台団地の宅地を分譲しています。土地購入から10年以内に住宅を新築した方に土地代金の一部を助成します。※助成金額(通常:坪あたり約4万円、被災者:坪あたり約6万円)

洋光台団地購入者紹介報奨金制度

洋光台団地分譲地の購入者を紹介した方(個人)に奨励金を交付します。

※報奨金(1区画につき10万円)

浄化槽設置整備事業

- ・下水道施設が当面整備されない地区で浄化槽を設置する方に対し補助金を交付します。(借家・アパートなどは対象外です。)
- ・住宅用合併浄化槽の設置から5年を経過し、浸透枳が浸透しなくなった人で再設置を行う場合5万円を上限として、補助金を交付します。

予防接種事業

高齢者に対しては、季節性インフルエンザと肺炎球菌の任意予防接種について、接種費を補助します。また、乳幼児・児童・生徒に対しては、予防接種法による定期予防接種を実施します。

いきいき健活ポイント事業

健診受診や健康づくり事業に参加することでポイントを付与し、ポイントカードがたまると1,000円分の商品券を贈呈します。楽しみながらの健康づくりを目指します。

健康診査・がん検診

すべての基本健診(さわやか成人健診・国保特定健診・後期高齢者健診)を無料で受けることができます。※がん検診は自己負担あり。

健康増進事業

健康増進事業に基づく「健康教育」、「健康相談」、「健康診査」、「訪問指導」について、効果的に継続・拡充させ実施していきます。また、地区組織の育成と活動の活性化を図ります。

町民バス運行事業

町内における交通手段を確保することを目的に「町民バス」を運行しています。

1乗車(200円)～小学生(100円)～未就学児(無料)



暮らし 支援

健康長寿の
まちづくり宣言しました!



移住のQ&A

移住に関するよくあるご質問をカテゴリ別にご紹介します

住まいの質問

居住の紹介はありますか？

町では空き家バンクを整備していますが、物件が少ない状況にあります。なお、町内には、不動産業者もあり物件を数多く紹介しています。

暮らしの質問

買い物は便利ですか？

町内に大型ショッピングモール、コンビニエンスストア、スーパー、ドラッグストアやホームセンターが点在しています。

仕事の質問

働く場所はありますか？

近隣市町村から仕事探しができるWeb「八戸都市圏ジョブ市場」がご利用できます。また、起業や就農の相談窓口を設けておりますので、気軽にご相談ください。

暮らしの質問

自家用車は必要ですか？

町内に鉄道の駅が2駅と公共・民間路線バスがありますが、車移動が主になるので、自家用車があると便利です。

住まいの質問

冬は雪が降りますか？

冬は気温が低く、雪は降りますが、青森県の中で降雪量が少ない地域です。なお、おいらせ町を含む地区の平均積雪量は年間132cm程度です。
※2007年から2017年、八戸観測所平均値。

子育ての質問

子どもを預ける場所はありますか？

幼稚園・保育園・こども園があり待機児童はありません。また、町内の小学校付近の児童館を無料で利用でき、安心して子どもを預けて働くことができます。

子育ての質問

教育環境について教えてください

町内には、小学校5校、中学校3校、県立高校1校があります。また、近隣市の高校へバスや電車で通学することもできます。

暮らしの質問

病院はありますか？

町立病院をはじめとして個人病院が複数あります。また、近隣市の救急受入可能な総合病院まで車で30分圏内です。

子育ての質問

子どもが外遊び出来る場はありますか？

町には大きな公園が2つある外、カワヨグリーン牧場や観光農園アグリノ里があり動物との触れあいやフルーツの収穫体験など、休日は多くの家族で賑わっています。



おいらせ町の暮らし情報 TOWN INFORMATION

(2019年3月現在)

町の情報

- 人口:25,107人
- 世帯数:10290世帯
- 面積:71,96Km²

社会教育施設

- 図書館:1館
- 古墳館・記念館:3館
- 文化ホール・公民館:4館
- 体育館・運動施設:3館

医療機関

- 病院:2院
- 診療所:8院
- 歯科診療所:6院

子育て施設

- 認定こども園:13園
- 幼稚園:1園
- 認可外保育施設:1園
- 小学校:5校
- 中学校:3校
- 高校:1校

買い物施設

- スーパー:5店舗
- コンビニ:12店舗
- ホームセンター:3店舗
- ドラッグストア・薬局:12店舗
- ショッピングモール:3ヶ所

交通

- 路線バス:2線路
- コミュニティバス:あり
- タクシー:3社

観光娯楽施設

- TOHOシネマズおいらせ下田
- 観光農園アグリノ里おいらせ
- カワヨグリーン牧場・レストラン
- ネーチャーセンター白鳥の家
- いちょう公園
- 下田公園
- 二川目海浜公園
- 大山将棋記念館

宿泊施設

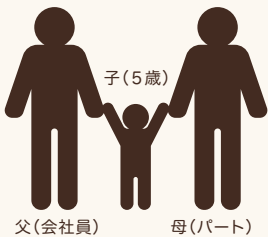
- 小笠原旅館
- 高橋旅館
- ビジネス旅館さくら
- 月見旅館
- ビジネス民宿みちのくサニーフラット

行事・イベント

- (2月)百石えんぶり
- (4月)おいらせ町春まつり
- (6月)おいらせ町いちょうマラソン大会
- (8月)全国将棋祭り
- (9月)百石まつり・下田まつり
- (11月)日本一のおいらせ鮭まつり

Aさん家族の 1ヶ月の生活費

冬のおいらせ町での生活



父給与	200,000円	(社会保障等は天引き)
母給与	80,000円	(社会保障等は天引き)
収入	280,000円	
家賃	45,000円	(2LDK、49㎡、築15年)
電気	5,000円	
ガス	15,000円	(夏は9,000円)
上下水道	8,000円	(2か月分の支払い月)
灯油	5,000円	(夏は1,000円)
食費	35,000円	(外食含む)
通信費	15,000円	(携帯機種代含む)
保険料	30,000円	
衣類、生活用品	15,000円	
保育料	22,000円	
ガソリン代	20,000円	(夏は15,000円)
趣味・交際費	15,000円	
(支出計)	230,000円	
残	50,000円	

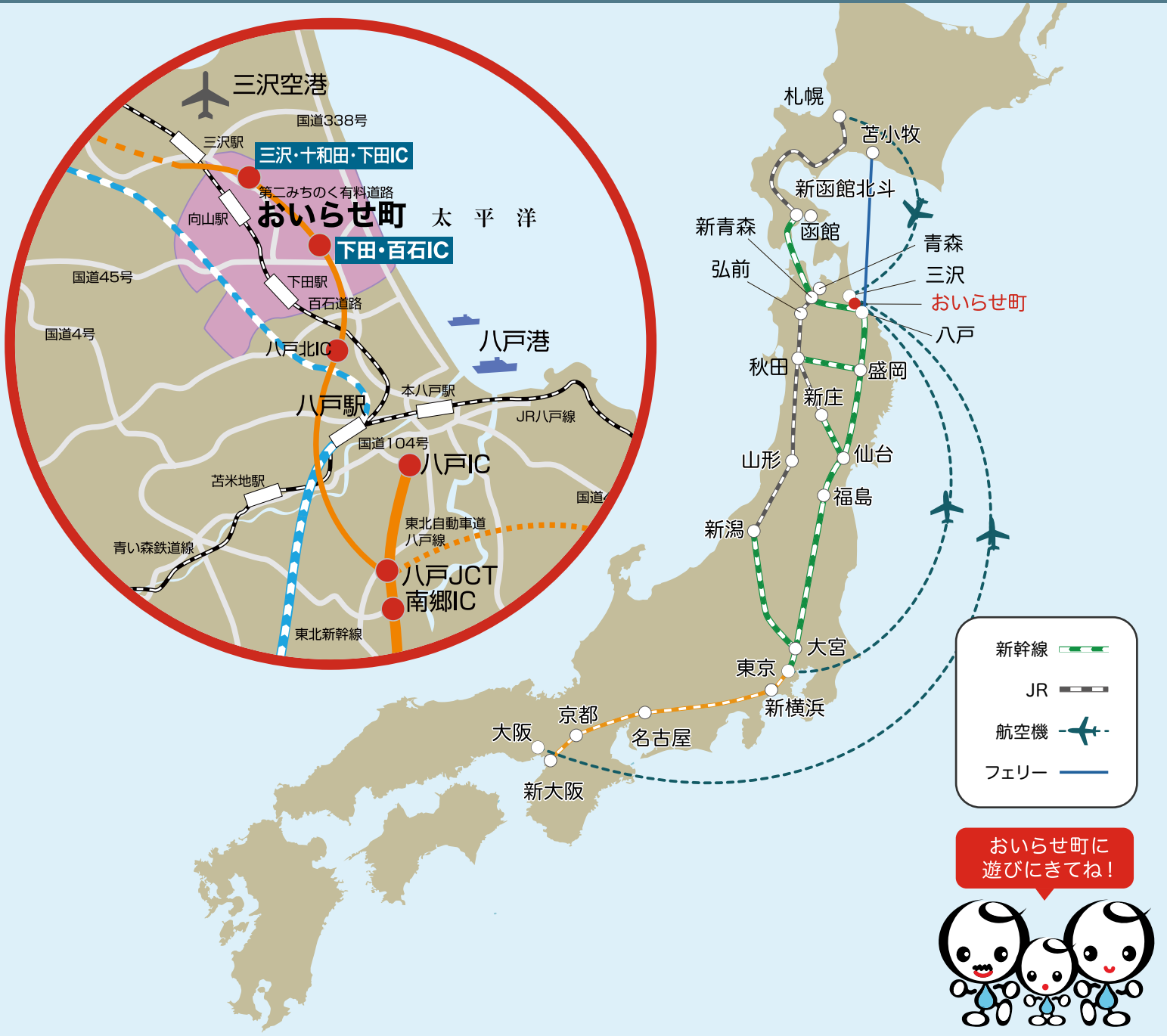






相談窓口

- 窓口 おいらせ町役場 政策推進課 地域振興係
- 住所 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2
- アクセス 青い森鉄道下田駅より徒歩で約16分
青い森鉄道下田駅より町民バスで約3分
- 電話 0178-56-4273
- メール seisaku@town.oirase.aomori.jp
- WEB <http://oirase-iju.com/>

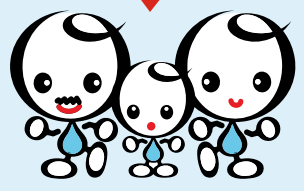
コメント

冬は夏に比べ暖房など出費が増える時期です。
節約は多少意識するものの、休日は家族で外食やゲームセンターなど遊びに行きます。
また、ボーナスは貯蓄しているため、老後や急を要する出費に備えています。



 新幹線
 JR
 航空機
 フェリー

おいらせ町に遊びにきてね!



 電車でのアクセス

東京 ● ——— ● 八戸 ——— ● 下田駅
はやぶさ: 最短2時間42分 青い森鉄道: 10分

仙台 ● ——— ● 八戸 ——— ● 下田駅
はやぶさ: 最短1時間9分 青い森鉄道: 10分

新函館北斗 ● ——— ● 八戸 ——— ● 下田駅
はやぶさ: 最短1時間27分 青い森鉄道: 10分

名古屋 ● ——— ● 八戸 ——— ● 下田駅
のぞみ・はやぶさ: 最短4時間34分 青い森鉄道: 10分

 フェリーでのアクセス

苫小牧 ● ——— ● 八戸 ——— ● 下田駅
最短7時間15分(1日4便) 青い森鉄道: 10分

 航空機でのアクセス

東京 ● ——— ● 三沢 ——— ● 下田駅
羽田空港(JAL): 85分(1日3便) 青い森鉄道: 10分

大阪 ● ——— ● 三沢 ——— ● 下田駅
伊丹空港(JAL): 100分(1日1便) 青い森鉄道: 10分

札幌 ● ——— ● 三沢 ——— ● 下田駅
丘珠空港(JAL): 60分(1日1便) 青い森鉄道: 10分

 車(高速道路)でのアクセス

東京 ● ——— ● 下田百石IC
約8時間

仙台 ● ——— ● 下田百石IC
約3時間30分

【おいらせ町へのアクセス】

- 新幹線を利用する場合
 - ・東京～八戸(約3時間)
 - ・JR八戸駅から青い森鉄道に乗り換え(八戸駅～下田駅)約10分
 - ・JR八戸駅より車で約20分
- 航空機を利用する場合
 - ・羽田空港～三沢(約85分)
 - ・三沢空港より車で約20分
- 車を利用する場合
 - ・東北自動車道～八戸自動車道～下田百石IC下車



笑顔あふれる元気な町

oirase町イメージキャラクター
「oirakun」

川越せんべい店

海外で暮らしていたとき、両親から実家の店を閉めると連絡があり、

明治六年から続くシヨリシヨリの手ごね石窯焼きせんべいを

後世に継ぐため、平成二十七年にUターンを決意。

煎餅作りの自動化が進む中、今も尚、扱いが難しい焼き窯に

こだわり、手焼き煎餅を巧みに焼く姿は、伝統芸能のようである。

[首都圏におけるご相談窓口]

青森暮らしサポートセンター(略称:あおぐら)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階「NPO法人ふるさと回帰支援センター」内

TEL:090-6342-6194 / FAX:03-6273-4821

ホームページ:<http://www.aomori-life.jp/>

開設時間 10:00~18:00 ※月、祝日、夏季休業期間及び年末年始はお休みです。

※相談会等で不在にする場合もございます。

oirase町政策推進課

〒039-2192 青森県上北郡oirase町中下田135-2

TEL:0178-56-4273(直通) / FAX:0178-56-4364

E-mail:seisaku@town.oirase.aomori.jp